

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	経済政策 (Economic Policy)					担当教員	太田 恵子 (オオタ ケイコ)	
2020-23 年度 入学者 (20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 A L
	2037-1-33-096	専門科目	選択	2 単位	3 年次	前期		
2024-25 年度 入学者 (24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 A L
	2437-1-33-035	専門科目	選択	2 単位	3 年次	前期		

① 授業のねらい・概要
本講義は、競争と経済効率、所得分配の公正、経済の安定と経済成長を目的として、政府が行う経済政策について、その役割、社会経済にもたらす効果を含め、ミクロ経済学とマクロ経済学基礎理論を適用して学ぶ。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
授業前にその回の授業内容を確認し、講義ノートを整理・分析し、配布プリントを確認してくる。必ず復習をし、正解できなかった問題に関しては正解できなかった理由を十分考え、理解すること。(180 分)
④ 関連科目・履修しておくべき科目
ミクロ経済学、マクロ経済学
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。
使用しない。基本的なことは黒板に書き、必要があれば、資料等を配布する。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
奥野信宏ほか『公共経済学で日本を考える』中央経済社
⑦ 当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
◆講義への出席が基本であり、授業中は集中して受講すること。 ◆積み重ねで学ぶため、欠席すると授業内容を理解するのが困難となるので、欠席しないこと。
⑧ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 経済政策の基礎を理解できる。市場機構における価格体系の理解のもと、公共財の機能、生産の効率、社会的厚生、などミクロ経済政策を理解できる。生産物市場と貨幣市場の均衡、完全雇用と市場利子率、物価、景気調整、財政政策と金融政策の効果、経済成長などマクロ経済政策を理解できる。 (ii) 現実の社会経済現象に応用し、分析することができる。 (iii) 政府の経済政策を理解し、評価することができる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 経済政策の基礎の理解	経済政策を自力で理解・説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している。	経済政策を自力で理解・説明でき、授業内容をよく理解している。	経済政策を理解でき、教員等の支援を受ければ説明できる。	経済政策を十分には理解できないが、教員等の支援を受ければ理解できる。	経済政策を、教員等の支援を受けても理解できない。
(ii) 現実の社会経済現象への応用と分析	授業内容を現実の社会経済現象に応用し、自力で分析ができ、授業内容を越えた学修成果を示している。	授業内容を現実の社会経済現象に応用し、自力で分析ができる。	授業内容を現実の社会経済現象に応用し、教員等の支援を受ければ説明することができる。	授業内容を現実の社会経済現象に応用して分析するには不十分だが、教員等の支援を受ければ、説明することができる。	授業内容を現実の社会経済現象に応用することは、教員等の支援を受けてもできない。
(iii) 政府の経済政策への理解と評価	政府の経済政策を理解して評価し、授業内容を越えた説明ができる。	政府の経済政策を理解して評価し、説明ができる。	政府の経済政策を理解して評価し、資料等を見ながら説明することができる。	政府の経済政策を理解して評価し、資料等を見ながら、さらに教員等の支援を受け説明することができる。	政府の経済政策を理解して評価し、資料等を見ても、さらに教員等の支援を受けても説明することができない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%		10%		10%		100%
(i) 経済政策の基礎的理解	80%						80%
(ii) 社会経済への応用分析			10%				10%
(iii) 経済政策の理解と評価					10%		10%
フィードバックの方法	授業への参加・意欲は、課した課題の答えを、学生自らが黒板に書き、教師が質問し、解説する。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	経済政策の位置づけ	筆記用具、電卓、配布プリント 配布プリント、講義ノートの整理・分析、復習	120 分
2	市場機構と公共財	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	180 分
3	価格統制	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	180 分
4	消費者余剰、生産者余剰、社会的余剰	筆記用具、電卓、配布課題 講義ノートの整理・分析、配布プリント、配布課題の予習・復習	180 分
5	生産の効率と資源配分	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	180 分
6	消費の効率とパレート最適	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	180 分
7	社会的厚生	筆記用具、電卓、配布課題 講義ノートの整理・分析、配布プリント、配布課題の予習・復習	180 分
8	所得格差と分配政策	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	180 分
9	生産物市場と I S 関数	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	180 分
10	貨幣市場と L M 関数	筆記用具、電卓、配布課題 講義ノートの整理・分析、配布プリント、配布課題の予習・復習	180 分
11	I S ・ L M 分析	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	180 分
12	財政政策	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	180 分
13	金融政策	筆記用具、電卓、配布プリント 講義ノートの整理・分析、配布プリントの予習・復習	180 分
14	経済成長	筆記用具、電卓、配布課題 講義ノートの整理・分析、配布プリント、配布課題の予習・復習	180 分
15	まとめ	筆記用具、電卓、配布模擬問題 講義ノートの整理・分析、配布模擬問題の予習・復習	240 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 A L を採用する。設問、コミュニケーションは、学生が順次対応し、教師が解説・評価する。数回の提出課題に関して、返却時に評価、考察を行い、学習内容をフィードバックする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
埼玉県職員（主事）として４年余り勤務し、ふるさと埼玉を守る条例に基づき指定した山林等の所有者に対して支払う奨励金に関して、その事務の簡素化・迅速化を図るため、システム仕様書、プログラム仕様書を作成し、これに基づきこの事務の電算システム化を完成させた。
実務経験と授業科目との関連性
講義を展開していく上で、事物を社会システムとしてのとらえ、実務における行政、経済政策を事例としてとりあげることができる。